

## ● コロナに負けない「まち歩き」



今回の目的地は、国営昭和記念公園。

コロナ感染症の長い「自粛生活」で、体の鈍った会員が集まり、消毒励行・大声禁止・距離を取っての「まち歩き」を行いました。

実施日は、3月12日(土曜日)。

快晴の探梅日和で、事によると「サクラの開花も見られるかな」の淡い期待はまだ早すぎました。

サクラは可憐な蕾で満足。紅梅白梅の林を歩き、楽しい宴会が出来ないのが残念でした。

3月に入り、真冬のような寒い日もありましたが、この日に限っては、歩けば歩くほどに体が暖かい日和で、早春で控えめに咲く花たちを腰を低くして、片栗の花・クリスマスローズ、沈丁花・福寿草などを鑑賞しました。

水鳥の池の真鴨と会話でき満足満足。

日本庭園の盆栽展も結構結構でした。

万歩計で15,000歩の「まち歩き」でした。

(写真・取材 / 自然と親しむ部会+)



▲ 福寿草



▲ 片栗の花

▲ 沈丁花



▲ クリスマスローズ

### 3月の名句(迷句)集

- 梅が咲き 晴れ渡る空 上着ぬぐ(昌子)
- こもれびの 丘に集うて 春宴(英司)
- 雪吊りを 解かれて松が 凜と立つ(みのる)
- 暖かく 櫻のつぼみ ふっくらと(令子)
- 水温み 湖畔に鴨が 遊び来る(佐山)
- 引き締まる 寒さ解ける 春一瞬(呆禿)
- 写メールは つい先程の 梅桜(柳川仁)